

## はなこみち施設長 一問一答

今号では、施設長の八須信治さんに一問一答で質問に答えていただきました。



**Q** どうして「児童養護施設はなこみち」を設立したのですか。

**A** 日本で初めて社会福祉施設「東京養育院」を創設した郷土の偉人青淵洪沢栄一翁は「救済機関の設立は、人道によって、自主自立を失った人を救うことよりも、むしろ社会維持の必要上、設けられたものである。」と訓言を残しています。社会福祉法人彩の国ふかや福祉会は、栄一翁の精神を規範とし、心身共にたくましい子どもたちの育成をめざし「児童養護施設 はなこみち」を整備しました。

**Q** 運営で心がけている点は何ですか。

**A** 花のまちふかや、日本一の切り花生産のチューリップをモチーフとし、子どもたちの未来をはぐくむことを願い、地名の「花小路」をもとに命名、笑顔にあふれ、活力ある未来に向け、大きく飛躍しようとする子どもの姿を表し、ロゴマークもつくりました。

「子育ては、見る・看る・診る・視る・観る心」という理念に立って、温もりのある家庭的なナーシングホームをめざしています。

**Q** 今の抱負についてお聞かせください。

**A** 机上の理論、算術ではなく、自ら考え、自ら実行、仁術として、人の世のあり方を考えることの大切さ。それが次世代育成支援施設「はなこみち」です。18才で、自立しなければならぬ子どもたちの自立支援施設の立ち上げ志し、40年の公務員生活を経て願いが成就。さらに「身近な街の法律家」として、「はちす行政書士事務所」を開設、気軽に相談できる「まちかど市民相談」「子ども家庭相談室」を施設内に併設、社会貢献をめざしています。

**Q** 趣味は何ですか。

**A** 高校生の時、少年剣道教室を開き、40年。剣道の師から、「貝柄杓(ひしゃく)身を捨てて また身をすくう 貝柄杓」という句を用いてご指導いただきました。身を捨てて、また身をすくう。これが「捨て身」の神髄ということです。今まで、たくさんの人たちに支えられて、今があります。これからは、この恩を少しずつ返していくこと「これ楽しみと 見つけたら…」という心境です。

# おもちゃ王国

今年も軽井沢おもちゃ王国に招待頂きました。生憎の天気では到着してすぐに雨具の購入をしました。軽井沢は11月にもなると風も冷たく寒かったです。そんな雨風にも負けず子ども達は「あれ乗りたい。これ乗りたい。」と元気でした。おもちゃ王国にある観覧車は浅間山を始め秋の山を見渡す事が出来ました。毎年毎年楽しい経験をさせて頂き感謝しております。ありがとうございました。

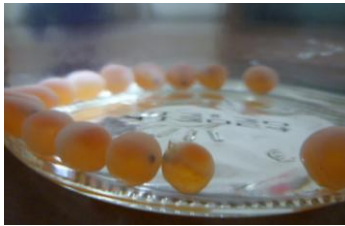
(中村佑也)



# サケの卵配布

12月7日に子供たち数名を連れて、地域の公民館にサケの卵を貰いに行きました。各ユニットへ持ち帰り、卵から稚魚に育つか挑戦が始まりました。年が明ける前には、おなかにオレンジの袋が付いた状態まで成長しました。一昨年より去年、去年より今年という具合に、稚魚になるまで育つ魚の数が増え、子ども達も水道水を溜め置きし、カルキ抜きをして、週に数回水の取り換えをし、だいぶ手馴れてきました。数年前に放流したサケが、戻ってくるかと思うと職員も、子どもも楽しみにしています。

(八須治)



# クリスマス会

12月21日、今年もはなこみちのクリスマス会が開かれました。会場の飾りつけは1年目の職員が、時間も予算も限られる中すてきな飾りを作り上げてくれました。そしてテーブルを並べ、会の飲み物やおやつを準備。去年から取り入れましたが、おいしいお菓子を食べながらのクリスマス会は、盛り上げに一役かってくれるようです。

今年の出し物も、各ユニット趣向を凝らしていました。AKB やジャニーズの曲に合わせてダンスを踊るグループなど、事前の練習風景を知っているだけに「頑張ったなあ」と嬉しく思いました。ビンゴゲームやクイズ大会も盛り上がりましたが、景品が去年より少なくなってしまったので、来年はぜひ皆さんからも寄贈をお願いします。

(塚越雅彦)



# 除夜の鐘・初詣

はなこみちの年越しは除夜の鐘つきと初詣が恒例です。昨年も小学5年生～高校生のこどもたちと寒空の下白い息を吐きながら、近所のお寺へ向かいました。一撞きに思いを込め、高く振り上げた棒が勢いよく鐘に当り、低く澄んだ鐘の音が大晦日の夜に響きました。新たな一年の始まりです。遠くの夜空に上がった大輪の花を横目に、あけましておめでとくと祝いの言葉をお互いに交わし、参拝客で賑わいを見せる神社へ。初めての子ども、そうでない子ども、手は何回叩くの？おじぎは？と繰り返し確認していましたが、番になるとしっかり参拝できました。今年もこどもたち、職員が笑顔で過ごせますように。

(八須彩乃)

# 餅つき

ぺったん、ぺったん・・・、うすときねでもちをつつく心地良い音が園内に響き渡りました。

子ども達も順番にもちつきに挑戦！！意外にも元気よく力強くつく姿に感動しました。そして、できたてのおもちをきなこもち、あんこもち、からみもちにして美味しく頂きました。これから先、おもちのように粘り強い身体と心が作れますように。そして大きな怪我や病気もなく心身ともに健康に今年一年を過ごせますように・・・。

(根岸香代子)





# ユニットから



## ぷちトマト(男子小規模)

粕谷瑛美

12月は小学生が持久走大会、中高生はバスケットボールの県北大会やサッカーの大会と、それぞれが活躍する姿が多く見られました。高校三年生の子は就職に向けて実習を真面目に取り組みました。年末は大掃除。高校1年生と中学2年生が、どちらがよりきれいか競うように自室の掃除をしていました。施設のクリスマス会も大晦日の除夜の鐘も、餅つきも、イベントが盛りだくさんであったという間の冬休みでした。しかし小学生3人がインフルエンザにかかってしまい、まさに寝正月を過ごしました。今年は2人の児童が外泊に行き、残りの3人はのんびり。皆よく食べ、よく遊び、よく寝て、風邪対策をしながらも元気に遊ぶ姿は男の子らしいなと思いました。

## かぶら(女子小規模)

中村紗綾

かぶらでは、年末年始、大晦日の除夜の鐘つきに参加しました。皆、「お賽銭をする！」との事でお小遣いの中から自ら金額を設定し、持参しました。「ご縁がある様に」と、5円玉は皆必須で持参。1年に1回のこの行事を、子どもたちはそれぞれに楽しんでいました。また、三日の食事の際、子どもの希望から1日1000円を個人で食べたい物を購入する形態をとりました。購入する中で、惣菜を買う子、材料を買って調理を行う子と、個人によって様々な姿がありました。日頃、おやつ作りを行っている中で“片付けまでが料理”という意識付けを行っているのもあってか、誰に言われるでもなく、手際よく調理を行い、片付けまできちんと取り組む事が出来ており、子ども達の自主性が少しずつ培われているのを感じました。ご飯を交換したり分けあったりして和やかに会食する中で、「これ美味しい!」「何入れて味付けしたの?」など話しながら情報交換をして共有する事も出来るなど、終始穏やかな様子であり、有意義に過ごせた年末年始でした。

## そらまめ(男子ユニット)

小森大輔

そらまめユニットに新しい仲間が増えました。熱帯魚の『ベタ』です。小学生を中心に毎日お世話をしていますが、今のところみんな元気に泳ぎ回っています。春に向けて、繁殖させると日々飼育に励んでいる子もいます。

先日、深谷にも大雪が降りました。幼児さんから大学受験を目指す高校生まで、みんな大興奮で雪合戦やかまくら作りなど、真冬なのに汗をかきながら楽しんでいました。この後は、日々の生活ではなかなか感じられない子ども達の成長を感じられる行事が沢山あります。嬉しく感じる半面、どこか悲しさも感じる少し複雑な時期です。インフルエンザや胃腸炎も気になる時期ですが、体調にも気をつけて残り1ヵ月あまりですが職員4人と子ども14人とペット沢山で頑張っていきたいと思います。

## もろこし(女子ユニット)

眞田博子

外泊の子ども達がいる中、普段より静かなリビングでは UNO に熱中する姿も見られました。小学生2人との対戦に何度も負けてしまう私には、子どもからの提案で記号カードを抜いてのルールにしたものの・・・彼女達の(勝ったあ)という表情をしばらく忘れることができなそうです。また、幼児を連れての買い物は、「品物を触っちゃいけないよ。こっちだよ。」と、優しい言葉かけと接し方が見られたり、夕食で作ったキムチ鍋の汁を翌日の煮ぼうとうのだしに使うアイディアを出したりと、頼もしささえ感じました。

そして彼女達は、外泊から帰園した子どもを笑顔で迎えワイワイ話すという、いつものもろこしの日常に戻った様子になりました。

# 行事予定(2月・3月・4月)

## 【2月】

1日 消火避難訓練  
 4日 書記会  
 里親委託推進会議  
 5日 運営会議  
  
 6日 ケース勉強会  
 12日 子育てフォーラム  
 実務者検討会議  
 14日 新任職員研修  
 埼性研  
 15日 子どもを虐待から守る会  
  
 16日 福川美化活動  
 18日 暴力排除研修  
 19日 職員会議  
 アフターケア会議  
 20日 埼児研  
  
 ケース勉強会  
 21日 施設長会議  
 施設長合同研修  
 22日 サケの放流  
 23日 熊谷里親会研修会  
 25日 FSW 研修会  
 26日 リーダー会議  
 26～ FSW 研修  
 27日  
 27日 法人役員会

## 【3月】

1日 消火避難訓練  
 3日 CSP 研修  
 高校入試  
 4～5 子どもの虹研修 家族  
 日 支援  
  
 4日 メンタルヘルス研修  
 5日 運営会議  
 6日 立正大学実習協議会  
 ケース勉強会  
 8～10 SBI 研修  
 日  
 9日 福川美化活動  
 10日 高校合格発表  
 12日 実務者検討会議  
 14日 中学校卒業式  
 18～ 子どもの虹研修  
 19日  
 19日 職員会議  
 20日 ケース勉強会  
 幼稚園卒園式  
 小学校卒業式  
 24日 リーダー会議  
 26日

## 【4月】

1日 辞令交付  
 2日 運営会議  
 5日 消火避難訓練  
 8日 小学校入学式  
  
 中学校入学式  
 9日 実務者検討会議  
 16日 職員会議  
 23日 リーダー会議

## 報恩感謝 善意の寄付

日本鏡餅組合 様 株式会社チュチュアンナ 様  
 株式会社プレナス 様 毎日新聞東京社会事業団 様  
 埼玉県書店商業組合 様 社会保険労務士 寺山良子 様  
 株式会社渋沢 様 徳間寛子 様  
 一般財団法人日本出版クラブ 様  
 埼玉東部ヤクルト販売株式会社 様  
 セカンドハーベスト・ジャパン 様  
 株式会社ニトリホールディングス 様  
 三国コカ・コーラボトリング株式会社埼玉支社 様

(順不同)

いつも温かいご支援ありがとうございます。

あなたも活動しませんか？

## ボランティアサークル 花小路 会員募集

はなこみちを支援するボランティアグループです。

本格的に活動するため、会員を募集しています。

### 活動内容

- ① 遊びボランティア
- ② 学習支援ボランティア
- ③ お掃除・お洗濯ボランティア
- ④ 短期里親ボランティア
- ⑤ 農園支援ボランティア
- ⑥ その他

### ～編集後記～

年も明けてひと月が経ちました。無事に年を越えられたことを喜ぶと同時に、1年を振り返って改めて子どもの成長を感じました。関東は毎年2月に雪が降り寒さはピークを迎える・・・そう思っていた矢先に先日の大雪がありました。出勤できない職員も多く、非常食で生活し、施設の備品も壊れる等、大変な思いをしましたが、子どもたちが率先して雪かきを手伝ってくれたことで施設内だけでなく道路まで整備することができ、地域の人にお礼まで言っていただけのほどでした。“困ったときにはお互い様”という『助け合いの心』が子どもたちの中にしっかりと育っているのだなと感じました。

(広報係 古河)

